



一般国道8号富山高岡バイパス 下田立体化事業

■事業概要

一般国道8号富山高岡バイパスは、朝夕の通勤時間帯を中心に交通が集中し、慢性的な渋滞が発生しています。

特に、主要地方道高岡環状線が交差する下田交差点の周辺は交通量が多く、渋滞が深刻化していました。

この渋滞解消を目的として、下田立体化事業を平成元年度事業化し、以降、平成9年度に用地買収着手、平成11年度には工事に着手しています。

今回、12月26日に本線高架橋が供用します。



高岡市石瀬地内

■下田交差点周辺の状況変化



昭和63年11月撮影



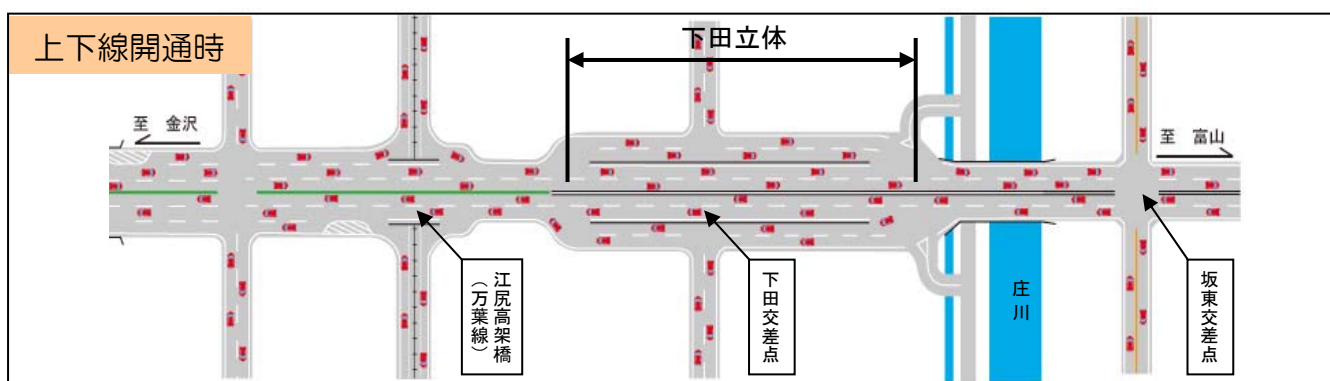
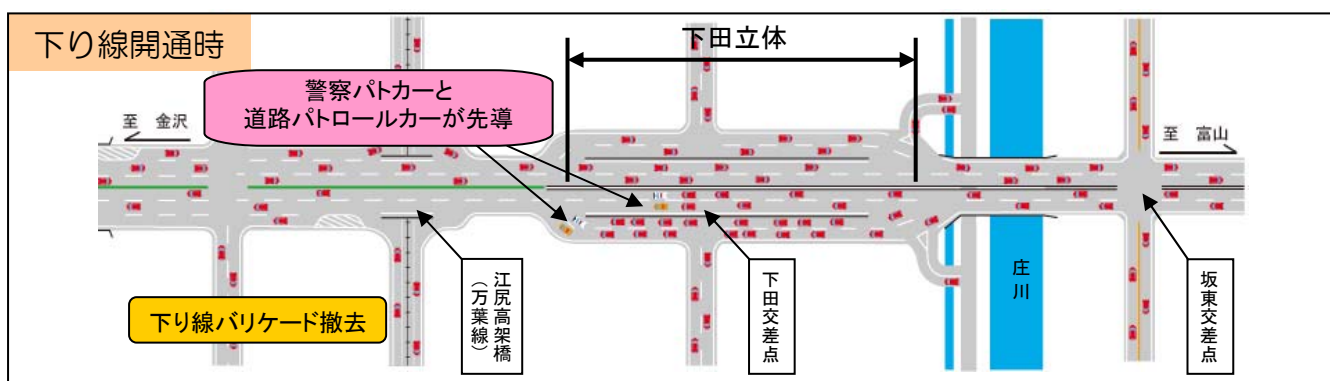
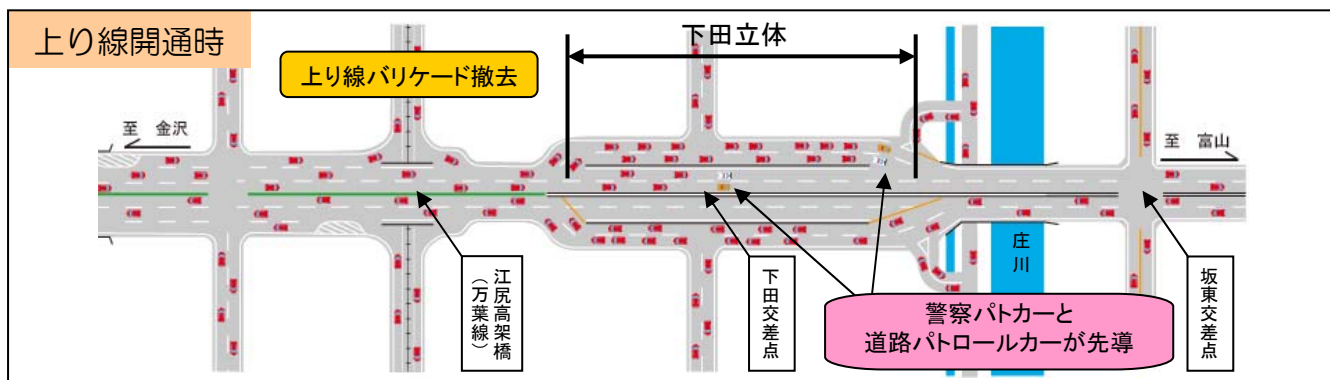
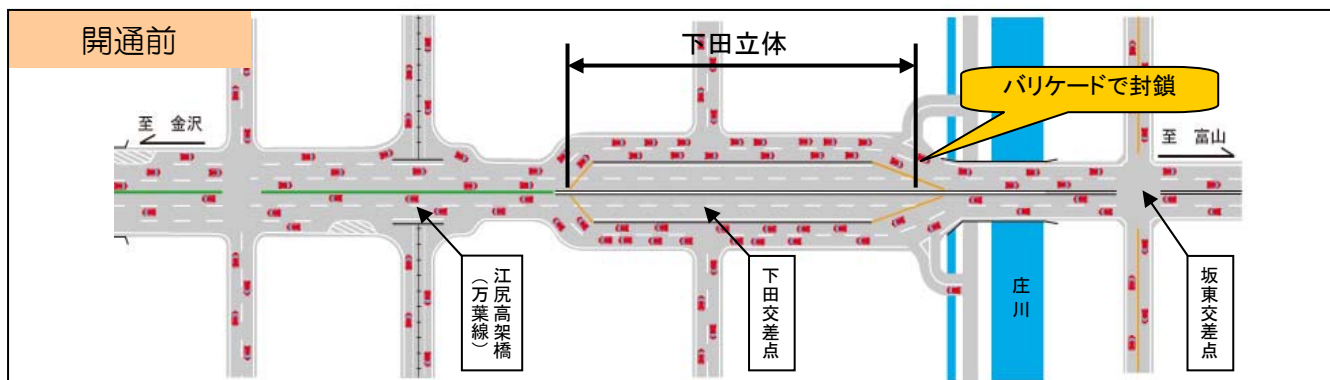
平成17年12月撮影



一般国道8号富山高岡バイパス 下田立体化事業

■ 供用開始当日の交通形態

供用開始直前は一時的に交通が止められます。
 上り線(富山方面)から先に供用し、その後下り線(金沢方面)を供用します。
 本線部及び側道部ではパトロールカーが交通を誘導します。これに従って注意して通行してください。



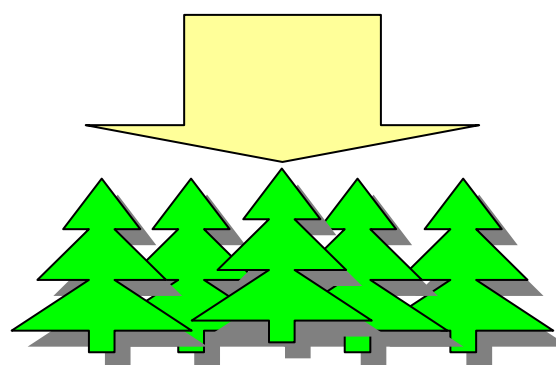
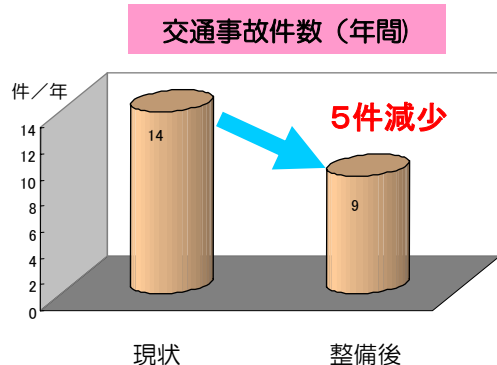
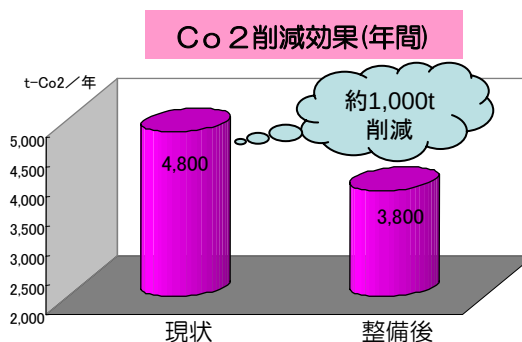
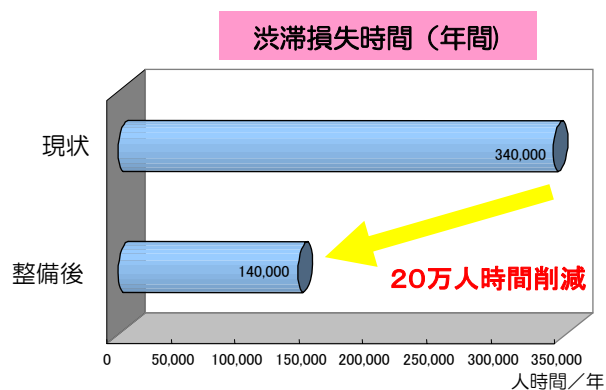
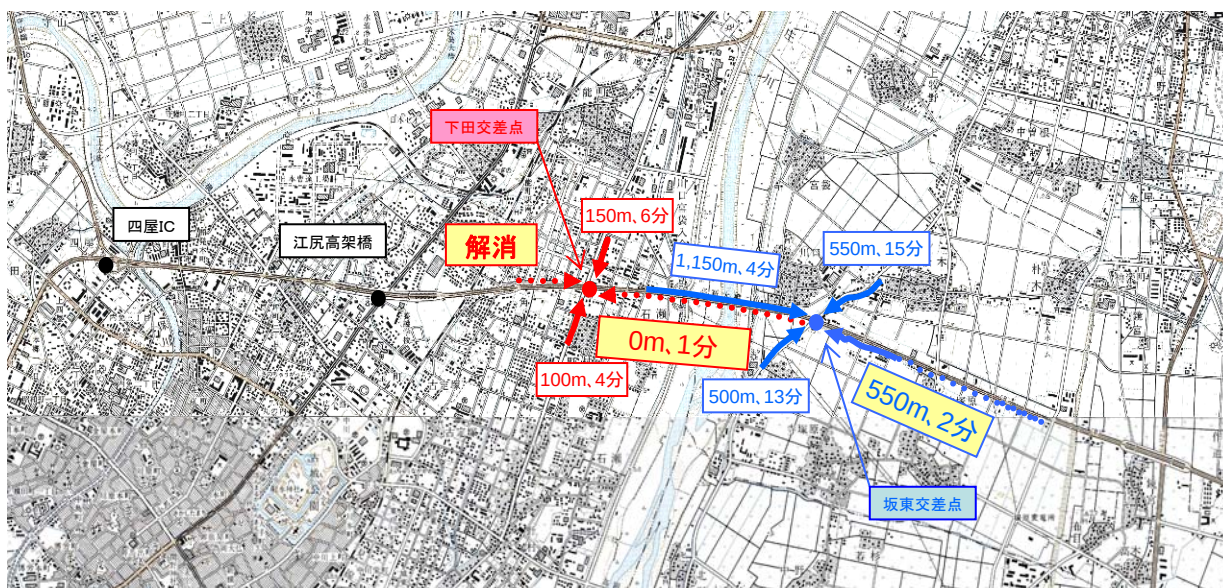


一般国道8号富山高岡バイパス 下田立体化事業

■下田立体化事業の整備効果

下田高架橋の開通により、渋滞が解消されることによって、渋滞損失時間の削減や所要通過時間の短縮が期待されます。

また、旅行速度が向上することにより、自動車の排出ガスなどから発生する二酸化炭素（CO₂）等の削減効果も期待出来ます。



高岡古城公園約2個分のスギ林が
1年間で吸収するCO₂量に相当